

教科別授業改善推進プラン（社会科）

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ キーワードを使ってノートにまとめることを繰り返し、言葉の定着が少しずつ図れてきた。
- ・ 児童が興味をもち、自分の考えがもてる課題を設定することで、自分の経験、資料、人々の願い、環境など学習したことを関連させて考察し、文章や絵で表現できるようになってきた。

(2) 課題

- ・ 地名に関して地図帳で確認したが、等高線や地図記号の読み取りに関しては授業の中であまり取り上げる機会がない。
- ・ 学習の終わりに、社会科用語を使って学習感想やまとめを書くことにより重要用語を正しく使えるようになったが、定着までには至らなかった。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(観点別経年比較)

評価の記号は、平均正答率が目標値を「△…上回っている」「▼…下回っている」

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	観点別 ・知識・技能 △ ・社会的な思考・判断・表現 △ ・主体的に学習に取り組む態度 △	/	/
第5学年	観点別 ・知識・技能 △ ・社会的な思考・判断・表現 ▼ ・主体的に学習に取り組む態度 ▼	観点別 ・知識・技能 △ ・社会的な思考・判断・表現 △ ・主体的に学習に取り組む態度 △ (第4学年時)	/
第6学年	観点別 ・知識・技能 ▼ ・社会的な思考・判断・表現 ▼ ・主体的に学習に取り組む態度 ▼	観点別 ・知識・技能 △ ・社会的な思考・判断・表現 ▼ ・主体的に学習に取り組む態度 ▼ (第5学年時)	観点別 ・知識・技能 ▼ ・社会的な思考・判断・表現 △ ・主体的に学習に取り組む態度 ▼ (第4学年時)

(2) 分析

4年	正答率は概ね目標値と同じか、上回る項目がある。 ○店ではたらく人については、概ね目標値を上回っている。特にスーパーマーケットで働く人の仕事を選択する問題に関しては、正答率が9割を上回っている。 ●買い物調べについて、コンビニエンスストアや商店街について理解できていない児童が多い。 ●市の様子について、地図記号や方位の理解のもとに、土地の様子について地図を読み取ることができていない児童が多い。
5年	正答率は概ね目標値と同じか、下回る項目がある。 ○くらしを支える水については、概ね目標値を上回っている。特に浄水場できれいな水が作られるまでの様子についての問題に関しては、高い正答率を示している。 ●地図の見方について、地図の縮尺の理解のもとに距離を読み取る問題で誤答が多かった。 ●自然災害からくらしを守るについて、地震災害に関する年表から読み取ることができていない児童が多い。

6年	<p>正答率は全体的に目標値を下回っている。目標値を5～10ポイント以上下回る正答率を示した項目も多い。</p> <p>○工業生産と工業地域については、日本の工業生産の資料から読み取る問題で正答率が9割を上回っている。資料を正しく理解し、考察することができる児童が多く見られる。</p> <p>●日本の水産業については、資料に着目して日本周辺がよい漁業である理由を捉え、記述することができない児童が多い。</p> <p>●品種改良、北方領土などの重要語句の定着が不十分である。無解答の児童も多く見られる。</p>
----	--

3 重点課題

3年	<ul style="list-style-type: none"> ・地図上から、方位や地図記号、土地の様子を読み取ること。 ・授業で出てきたキーワードを使って文章を書くこと。 ・地図や資料から調べたこと、分かったことを整理してまとめること。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科用語を確実に理解すること。 ・方位や地図記号など地図を読み取るうえで基本的な技能を身に付けること。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・地図にかかれていることを理解し、地図を正しく読み取ること。 ・資料を丁寧に読み、内容を正しく理解すること。また、複数の資料を比較したり、関連付けたりして、総合的に読み取ること。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科用語を習得し、重要語句を使って学習感想やまとめが書けるようにすること。 ・普段の授業から、教科書や資料集などの「資料」を丁寧に読み取る力を付け、書かれている内容を正しく理解すること。また、複数の資料を比較したり、関連付けたりして、総合的に読み取ること。

4 授業改善策

3年	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳を使用し、方位や地図記号、土地の高低や土地利用について確認する活動を取り入れる。 ・学習感想やまとめを書く時、授業で出てきたキーワードを使用させる。復習も取り入れることで知識を定着させる。 ・資料を読み取る場面を設定する。資料から読み取れることを全体で確認し、題意に沿ったまとめをする活動を取り入れる。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・地図記号など重要語は、復唱したり、ミニテストをしたりして確実に理解できるようにする。 ・地図上で説明させる際には、日常から方角を使うように意識させることで定着を図る。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳を活用する時間を設定する。その際、方位や縮尺などの指導を行い、地図を正しく見ることができるようになる。また、東京ベーシック・ドリルを活用し定着を図る。 ・一つ一つの資料の読み取りができるよう、読み取りの視点（縦軸は何か、横軸は何か、顕著な変化は何かなど）をもち資料を見るよう指導する。また、資料を比較したり、関連付けたりして資料を総合的に読み取る活動を多く取り入れる。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つの資料の読み取りが正確にできるよう、読み取りの視点を明確化し、必要な情報を収集できる力を身に付けさせる。 ・ワークシートやドリルパークを用いて、日本の国土の特徴について復習を行い、知識の定着を図る。 ・学習した重要語句を用いて、分かったことを自分の言葉でまとめる機会を増やす。
全学年 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の事項が確実に身に付くよう、東京ベーシック・ドリルを活用する。